

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月8日

【四半期会計期間】 第36期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 サイバネットシステム株式会社

【英訳名】 Cybernet Systems Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 安江 令子

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期 連結累計期間	第36期 第1四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	5,140,517	5,119,581	21,350,645
経常利益 (千円)	680,510	578,759	2,145,731
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	406,721	398,783	1,258,246
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	422,846	361,099	1,280,496
純資産額 (千円)	13,018,245	13,579,501	13,636,254
総資産額 (千円)	19,437,069	20,143,743	20,821,570
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	13.05	12.80	40.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	66.2	66.6	64.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は、第31期第2四半期連結会計期間より「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入していましたが、第35期第1四半期連結会計期間において当該制度を廃止し、当該信託が所有する当社株式を無償取得のうえ消却しております。なお、当該信託が所有していた当社株式については、自己株式として計上していたため、1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定にあたっては、当該株式数を控除する自己株式に含めて「普通株式の期中平均株式数」を算定しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態の状況

(資産)

流動資産は、185億52百万円（前連結会計年度末比4億69百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の増加9億90百万円、有価証券の減少15億円によるものです。

固定資産は、15億90百万円（前連結会計年度末比2億8百万円の減少）となりました。これは主に、繰延税金資産の減少1億23百万円によるものです。

この結果、当第1四半期末における総資産は、201億43百万円（前連結会計年度末比6億77百万円の減少）となりました。

(負債)

流動負債は、53億15百万円（前連結会計年度末比6億10百万円の減少）となりました。これは主に、買掛金の増加5億40百万円、未払法人税等の減少4億62百万円、賞与引当金の減少5億59百万円によるものです。

固定負債は、12億49百万円（前連結会計年度末比10百万円の減少）となりました。

この結果、当第1四半期末における負債合計は、65億64百万円（前連結会計年度末比6億21百万円の減少）となりました。

(純資産)

当第1四半期末における純資産は、135億79百万円（前連結会計年度末比56百万円の減少）となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少58百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.7%から66.6%となりました。

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の業績は、国内売上高は、ITソリューションサービス事業が増収になりましたが、CAEソリューションサービス事業が減収になりましたことにより、減収になりました。海外では、台湾の子会社、ベルギーの子会社が増収になりましたが、中国子会社等が減収になりました。その結果、連結売上高は前年同期に比べ減収となりました。営業利益は減収及び製品構成比率の変更等により減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は51億19百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は5億42百万円（前年同期比18.3%減）、経常利益は5億78百万円（前年同期比15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億98百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（CAEソリューションサービス事業）

主力商品のマルチフィジックス解析ツール及び光学系解析ツールの新規ライセンス販売は、電機・電子部品・精密機器業界からの大型受注が獲得できたことにより好調に推移しました。3月以降は新型コロナウイルスの影響で一部の顧客で導入見送りが発生しましたが、保守契約の更新は同様の影響を大きく受けず堅調に推移しました。

エンジニアリングサービスは、自動車業界からのMBD業務が減少し低調に推移しました。

WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）は、日本及び欧州では好調に推移いたしましたが、北米では低調に推移いたしました。Sigmetrix, L.L.C.（米国）は、3次元公差マネジメントツールの販売が北米では好調に推移いたしましたが、アジアでは低調に推移いたしました。Noesis Solutions NV（ベルギー）は、最適設計支援ツールの販売が北米及び日本で好調に推移いたしました。

莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）は、マルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしましたが、光学系ソフトウェアの販売が低調に推移いたしました。思渤科技股份有限公司（台湾）は、マルチフィジックス解析ツール及び光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。CYFEM Inc.（韓国）は、光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN.BHD.（マレーシア）は、光学系ソフトウェアの販売が低調に推移いたしました。2020年1月に事業を開始したサイバネットM B S E株式会社（日本）は、順調に事業を開始いたしました。

以上の結果、売上高は39億45百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益（営業利益）は8億13百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

（ITソリューションサービス事業）

エンドポイントセキュリティソリューションは、製造業界からの新規大型受注により好調に推移いたしました。また、IT資産管理の窓口（主要商品の複数販売）ソリューションも新規ライセンス販売が好調に推移しております。クラウド型シングルサインオン・アクセスコントロールソリューションもクラウドサービス利用増加に伴い好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は11億74百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益（営業利益）は67百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループは、事業に必要な資金を安定的に確保することを基本方針としております。当社グループの資金需要は、運転資金のほか、ソフトウェア開発費用、企業価値向上への貢献が見込める成長分野への事業投資等があります。これらの資金需要に対しては、自己資本及び必要に応じて親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）または金融機関からの借入による資金調達を実施致します。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は10百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

2020年12月期通期の業績予想につきましては、2020年2月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞により、实体经济への影響が強く懸念されます。業績予想への影響は現時点では見通すことは困難であるため反映しておりませんが、今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2020年度（2020年12月期連結業績見通し）]

売上高	220億円	（前年比3.0%増）
営業利益	20億60百万円	（前年比2.0%増）
経常利益	21億40百万円	（前年比0.3%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	13億円	（前年比3.3%増）

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2020年度（2020年12月期）連結業績予想値は、いずれも業界等の動向、国内及び海外の経済状況、為替相場などの要因について、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	129,600,000
計	129,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	32,076,000	32,076,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 あります。
計	32,076,000	32,076,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月31日		32,076,000		995,000		909,000

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 917,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,154,600	311,546	-
単元未満株式	普通株式 3,700	-	-
発行済株式総数	32,076,000	-	-
総株主の議決権	-	311,546	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式79株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) サイバネットシステム株式会社	東京都千代田区 神田練堀町3番地	917,700		917,700	2.86
計	-	917,700		917,700	2.86

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,019,357	4,010,008
受取手形及び売掛金	4,382,373	4,667,093
有価証券	7,000,000	5,500,000
商品及び製品	8,910	29,865
仕掛品	9,472	14,667
原材料及び貯蔵品	22,032	14,216
短期貸付金	3,360,115	3,257,530
その他	1,223,421	1,064,578
貸倒引当金	3,565	5,125
流動資産合計	19,022,119	18,552,835
固定資産		
有形固定資産	364,840	357,540
無形固定資産		
その他	280,695	289,118
無形固定資産合計	280,695	289,118
投資その他の資産		
投資有価証券	1,758	1,608
その他	1,327,044	1,081,270
貸倒引当金	174,887	138,630
投資その他の資産合計	1,153,914	944,249
固定資産合計	1,799,450	1,590,907
資産合計	20,821,570	20,143,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,493,580	2,034,496
未払法人税等	530,742	68,260
賞与引当金	727,846	168,259
役員賞与引当金	44,600	6,170
前受金	2,021,158	2,011,427
その他	1,107,933	1,026,545
流動負債合計	5,925,860	5,315,159
固定負債		
退職給付に係る負債	1,230,834	1,221,571
その他	28,620	27,511
固定負債合計	1,259,455	1,249,082
負債合計	7,185,316	6,564,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,145,836	12,155,143
自己株式	577,684	577,684
株主資本合計	13,472,152	13,481,458
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,106	66,984
その他の包括利益累計額合計	8,106	66,984
非支配株主持分	172,208	165,027
純資産合計	13,636,254	13,579,501
負債純資産合計	20,821,570	20,143,743

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	5,140,517	5,119,581
売上原価	3,043,148	3,126,807
売上総利益	2,097,369	1,992,773
販売費及び一般管理費	1,433,329	1,450,442
営業利益	664,040	542,331
営業外収益		
受取利息	4,679	5,499
為替差益	121	13,389
助成金収入	10,124	15,167
その他	1,572	2,479
営業外収益合計	16,496	36,535
営業外費用		
売上割引	1	103
その他	24	3
営業外費用合計	26	107
経常利益	680,510	578,759
税金等調整前四半期純利益	680,510	578,759
法人税、住民税及び事業税	107,492	40,663
法人税等調整額	141,216	112,576
法人税等合計	248,708	153,240
四半期純利益	431,802	425,519
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,080	26,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	406,721	398,783

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	431,802	425,519
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,955	64,420
その他の包括利益合計	8,955	64,420
四半期包括利益	422,846	361,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,813	339,906
非支配株主に係る四半期包括利益	24,033	21,192

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
税金費用の計算	連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
受取手形	3,397千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	64,178千円	57,004千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月7日 取締役会	普通株式	260,043	8.26	2018年12月31日	2019年2月21日	利益剰余金

(注) 2019年2月7日取締役会決議による配当金の総額には、株式付与ESOP信託口及び役員報酬BIP信託口が所有する当社株式(自己株式)324,000株に対する配当金2,676千円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月6日 取締役会	普通株式	389,477	12.50	2019年12月31日	2020年2月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,141,148	999,369	5,140,517	-	5,140,517
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	4,141,148	999,369	5,140,517	-	5,140,517
セグメント利益	825,871	124,816	950,688	286,648	664,040

(注) 1. セグメント利益の調整額 286,648千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 286,648千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,945,418	1,174,163	5,119,581	-	5,119,581
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	3,945,418	1,174,163	5,119,581	-	5,119,581
セグメント利益	813,731	67,649	881,381	339,049	542,331

(注) 1. セグメント利益の調整額 339,049千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 339,049千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	13.05	12.80
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	406,721	398,783
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	406,721	398,783
普通株式の期中平均株式数(株)	31,158,269	31,158,221

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 株主資本において自己株式として計上されていた信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
 1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第1四半期連結累計期間243,000株であります。

2 【その他】

2020年2月6日開催の取締役会において、2019年12月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり
 期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	389,477千円
1株当たりの金額	12.50円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年2月25日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月5日

サイバネットシステム株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 谷 哲 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古 市 岳 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバネットシステム株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバネットシステム株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。